

直近の温室効果ガス排出量の推計

(1) 推計方法

○温室効果ガス排出量は、国が公表する「都道府県別エネルギー消費統計」等を用いて各都道府県が算定しており、最新の実績値は2021年度

○一方で、国・民間団体からエネルギーに関する2023年度までの各統計が公表されており、排出量の約8割を占めるエネルギー起源CO₂*は推計することが可能

※エネルギー起源CO₂=産業部門、業務部門、家庭部門及び運輸部門から排出されるCO₂

➡最新のトレンドを把握するため、それらの統計を用いて2022・2023年度エネルギー起源CO₂の排出量（4部門の排出量相当）を推計

【推計する温室効果ガス排出量】

産業部門、業務部門、家庭部門及び運輸部門

【用いる統計】

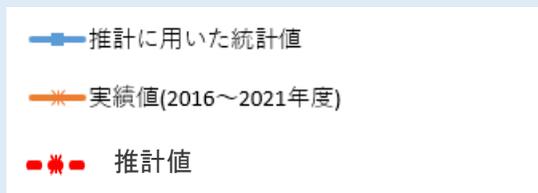
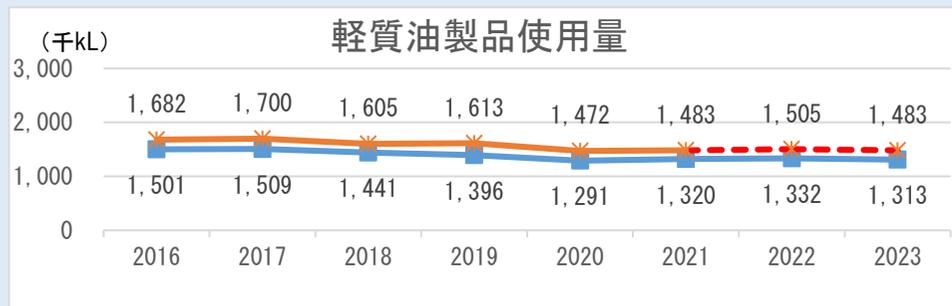
- ・電 気：電力調査統計（資源エネルギー庁）
- ・石 油 ガ ス：LPガス都道府県別販売量（日本LPガス協会）
- ・軽質油製品：都道府県別石油製品販売総括（石油連盟広報室）
(ガソリン・灯油・軽油)

※統計のない石炭、都市ガス等は2016～2021年度までの実績値の平均値を使用

※電力排出係数は中部電力ミライズ株式会社を使用

(2) 推計値の精度について

○推計に用いた統計値と、実績値（2016～2021年度）では、数値の差異はあるものの、概ね同様の推移を示している



○推計に用いた統計値と実績値との数値差については、乖離率による補正を行い推計値を算出した

		電力使用量	石油ガス使用量	軽質油製品使用量
推計値 (年度)	2022	13,707 百万 kWh	156 千 t	1,505 千 kL
	2023	13,416 百万 kWh	149 千 t	1,483 千 kL

(3) 電力排出係数（中部電力ミライズ株式会社）の推移

	単位	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)
電力排出係数	kg-CO ₂ /kWh (前年度比)	0.485 (▲0.2%)	0.476 (▲1.9%)	0.457 (▲4.0%)	0.431 (▲5.7%)	0.406 (▲5.8%)	0.449 (+10.6%)	0.433 (▲3.6%)	0.439 (+1.4%)

(4) 推計結果（産業、業務、家庭及び運輸部門の排出量）

○2023年度における温室効果ガス排出量の推計の結果は1,242万t-CO₂

○2030年度目標の達成に向けた、2023年度排出量の目安※1,166万t-CO₂から、**76万t-CO₂超過**

○76万t-CO₂は約2年分の削減量に相当（2年の遅れ）

※定率削減（対前年度▲3.2%）で推移した場合の目安

